

自然と生きる若者集団プロジェクト

～若者や子どもたちが住みたい村にするためには～



- ・ NPO法人かしもむら
- ・ NPO法人馬瀬川プロデューサー
- ・ 一般社団法人aichikara
- ・ 学生団体 加子母木匠塾

休眠預金を活用した「NPOによる協働・連携構築事業」

■対象テーマ

- ①虐待、いじめ、不登校、ひきこもり、自殺など子ども・若者が抱える深刻な課題への支援
- ②日本社会における在留外国人が抱える課題解決への支援と多文化共生
- ③過疎地域におけるコミュニティの維持と環境保全

下呂市馬瀬（旧馬瀬村）



馬瀬	2010年 4月	2020年 4月	増減	減少率
人口	1,390	1,106	▲284	▲20%
世帯	413	403	▲10	

中津川市加子母（旧加子母村）



加子母	2010年 4月	2020年 4月	増減	減少率
人口	3,071	2,705	▲366	▲12%
世帯	999	968	▲31	

それぞれ集落の中心に清流が流れ、それを育む豊かな森、自然環境に恵まれた山村である。しかし、過疎化の流れは深刻で、その自然環境を守っていく担い手不足が深刻な状況ある。

過疎問題を解決していくには・・・

■「集落ネットワーク圏」（総務省）

基本的には合併した旧市町村（学区）単位の枠組み

基幹集落（中心市街地）への「集約」を中心とした「ネットワーク化」

課題

- ・同一の自治体内では平準化されてしまう
- ・住民意識の変化が起こりにくく、しがらみから抜け出せない

チーム結成のねらい

■行政区域にとらわれない「新たなネットワーク」の形成

- ・それぞれの集落の持つ個性を発揮する
- ・しがらみのない外部の若者の存在により、住民の認識の変化が生まれる

自然と生きる若者集団プロジェクト

コーディネート団体	NPO法人 かしもむら（中津川市加子母）
課題実行団体	1. NPO法人 馬瀬川プロデュース（下呂市馬瀬） 2. 学生団体 加子母木匠塾（建築を専攻する8大学300名） 3. 一般社団法人アイチカラ（被災地の子どもたちの支援等）
チームの事業目的	都市部の若者たちが、山村での様々な学びや体験を通じて地域への愛着を育み、活動を通じて地域との関りを持ち続ける。 さらには地域の新しい担い手としての関係を構築し、過疎地域におけるコミュニティの維持と環境保全の問題を解決していく

今後への展望

- ・域学連携を継続発展させていくためのプラットフォームの構築
- ・地域課題解決に向けたプログラムの創出
- ・多様な人材、組織との「関係人口」の構築

馬瀬地区での活動

- 行政・区長会等との調整
- 住民アンケートの実施
- 河川清掃
- オンラインセミナー



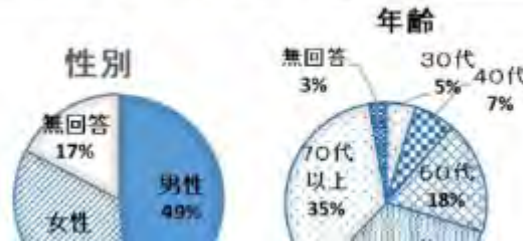
馬瀬地域住み方アンケート結果

(速報)

- 調査時期：8月～9月30日
- 回答率：45%(185通/408通)

回答者のプロフィール

	男	女	無回答	計
回答数	90	63	32	185
割合%	49%	34%	17%	100%



きれいな空気。(3名)
 星が綺麗で自然が豊かで、長年住んでいるので、静かです。
 季節ごとの景色が子育てに最高。子供に自然を教えられる。
 四季がはっきりしていて、夏は涼しい。山あり、川あり、のどか(2名)
 夏過ごしやすい。(1名)
 ◎人間関係(28名)
 人が優しい。(15名)
 隣人関係(5名)
 コミュニティがしっかりしている。(3名)
 隣近所がどういう人かが分かっているところ。(3名)
 顔見知りが多いので、話ができ気が楽なところ。
 人間関係がギスギスしていない。
 ◎静か(24名)
 のどか(16名)



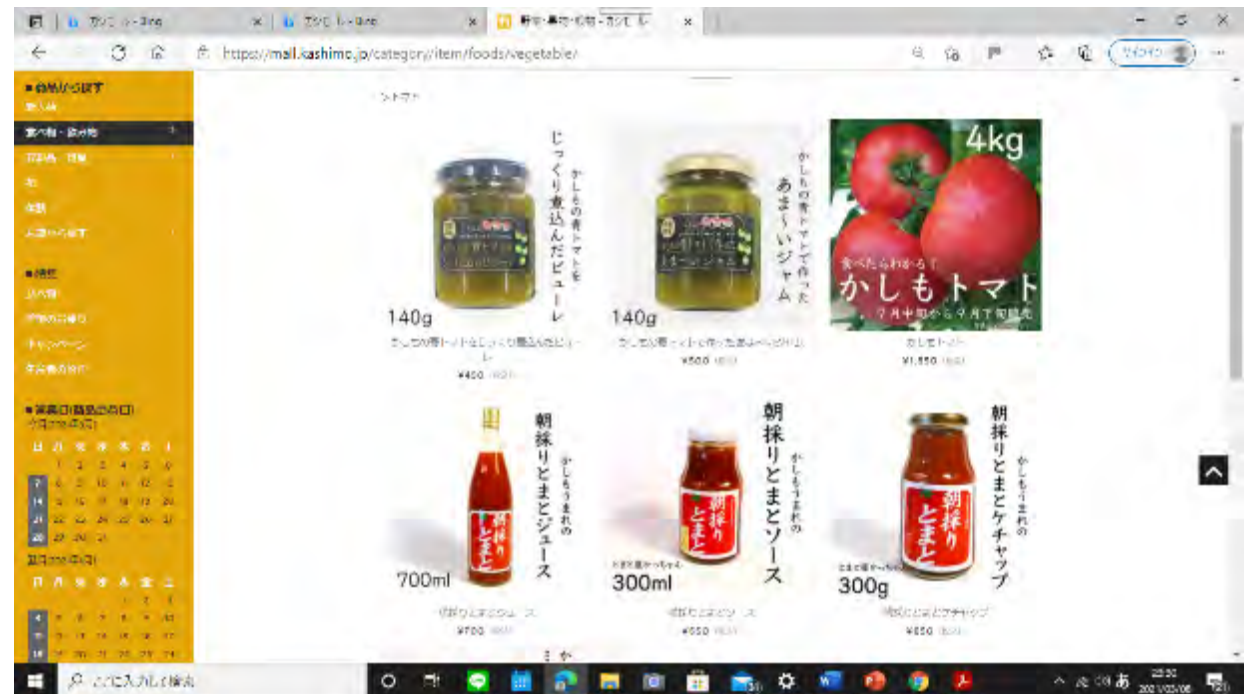
馬瀬地区での活動

- ・ 遊休農地の調査
- ・ 遊休農地マップのGIS化



加子母地区での活動

- 地域特産品のオンラインショップの開設
- 地元・若者ライターの養成





aichikara

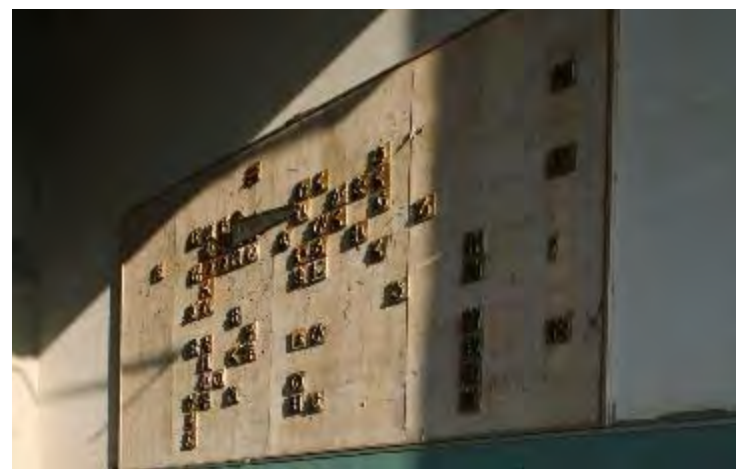
よみがえった「校歌額」 石巻・大川小の遺族のもとへ

東日本大震災の津波で児童や教職員ら計84人が死亡・行方不明となった宮城県石巻市立大川小学校の新たな校歌額が、岐阜県中津川市の中島工務店の工場で作成した。28日にも、犠牲者の遺族らでつくる「大川伝承の会」に贈られる。

一般社団法人「aichikara」（名古屋市）による「大川小学校 未来をひらくプロジェクト」の一環。額は横2・4メートル、縦1・7メートルで、愛知、茨城、愛媛、神奈川、岐阜5県の小中高8校の児童・生徒が、一つ9センチ四方の文字版を彫るなど協力した。



朝日新聞デジタルより





Kaerins Mokuhojens

加字母木匠塾



aichikara

**MAZEGAWA
PRODUCE**



NPO 法人
かしもむら

加子母木匠塾
今年度の取り組み

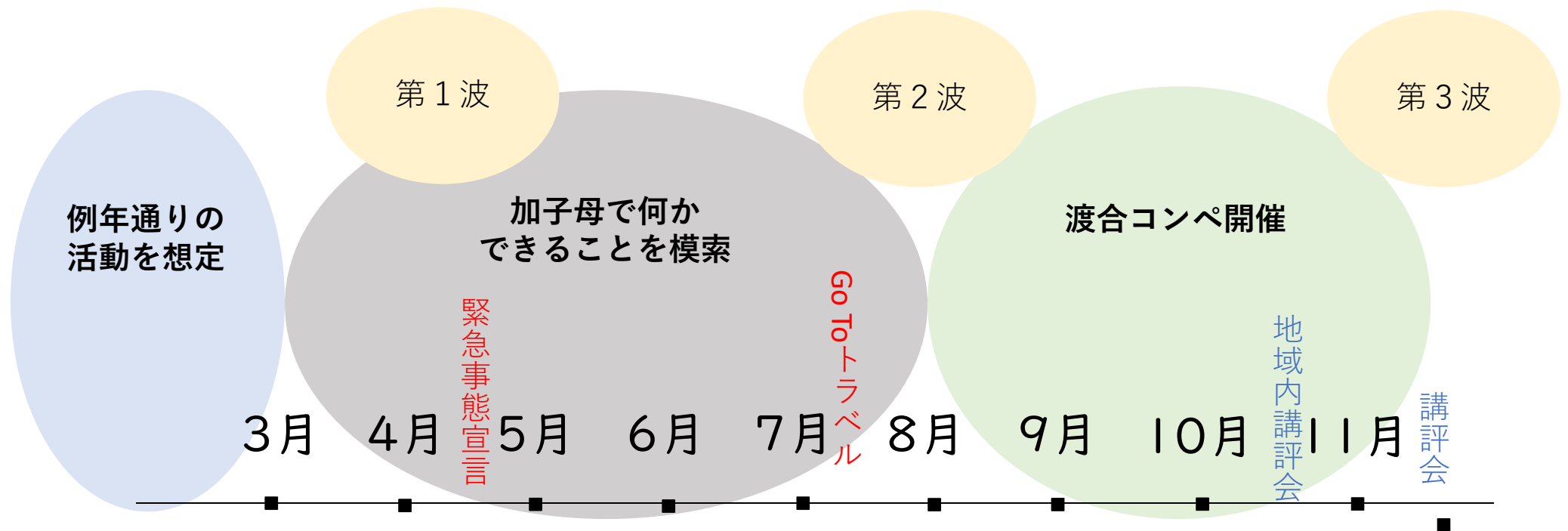
渡合地区
再整備・活用計画
コンペティション

例年通りの活動フロー



新型コロナウイルスの影響

国による緊急事態宣言 → 例年通りの活動は厳しい
大学側からの活動制限



経緯

2027年開通予定のリニア新幹線が中津川市に開設されることを契機に
加子母でも地域資源を活かした魅力の発信を検討しており、
加子母の歴史や自然を象徴する渡合地区の再整備計画が考えられている。

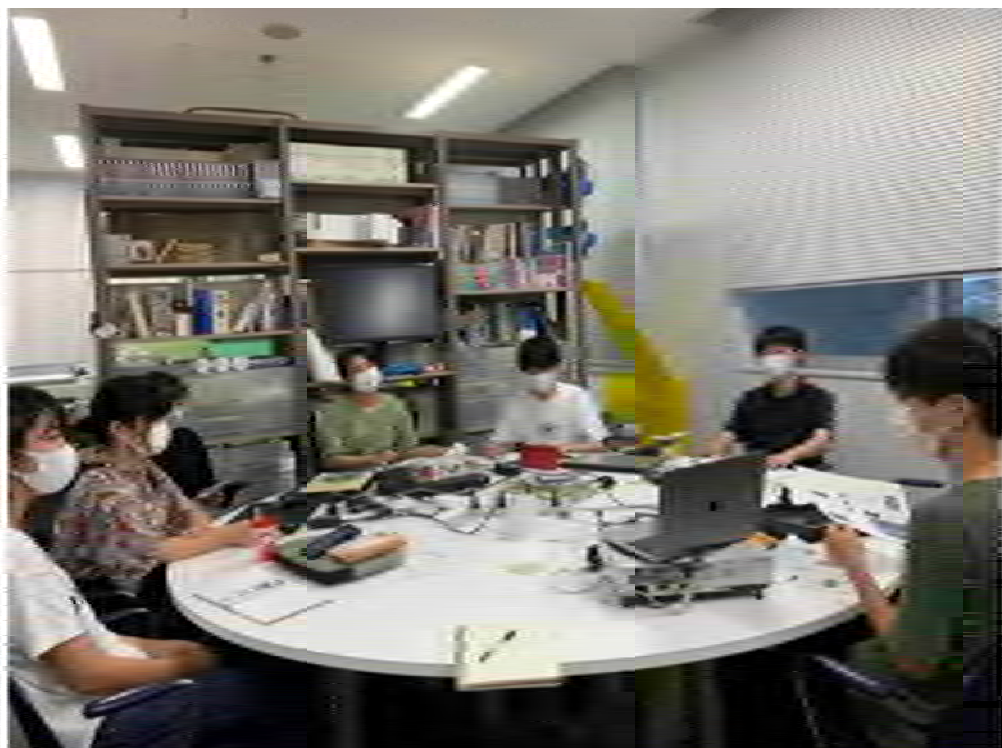
- 1.加子母を良く知る学生の視点からの提案が地域の議論に参入する事で
渡合地区の活用方法に幅を広げること期待
- 2.渡合地区は加子母木匠塾が過去に活動をしていた事がありゆかりのある土地ということで、
木匠塾としてもこのコンペを通して渡合を知るいい機会になる
- 3.今回、コンペを行い専門の方に見てもらう機会を作ることが、
木匠塾の設計の力を伸ばすきっかけとなる



いくつかの要因からコンペを行うことが現状で行うことができる最善策

参加体制は大学によって異なり、各大学のコロナウイルスによる活動制限に合った形で取り組んでいた

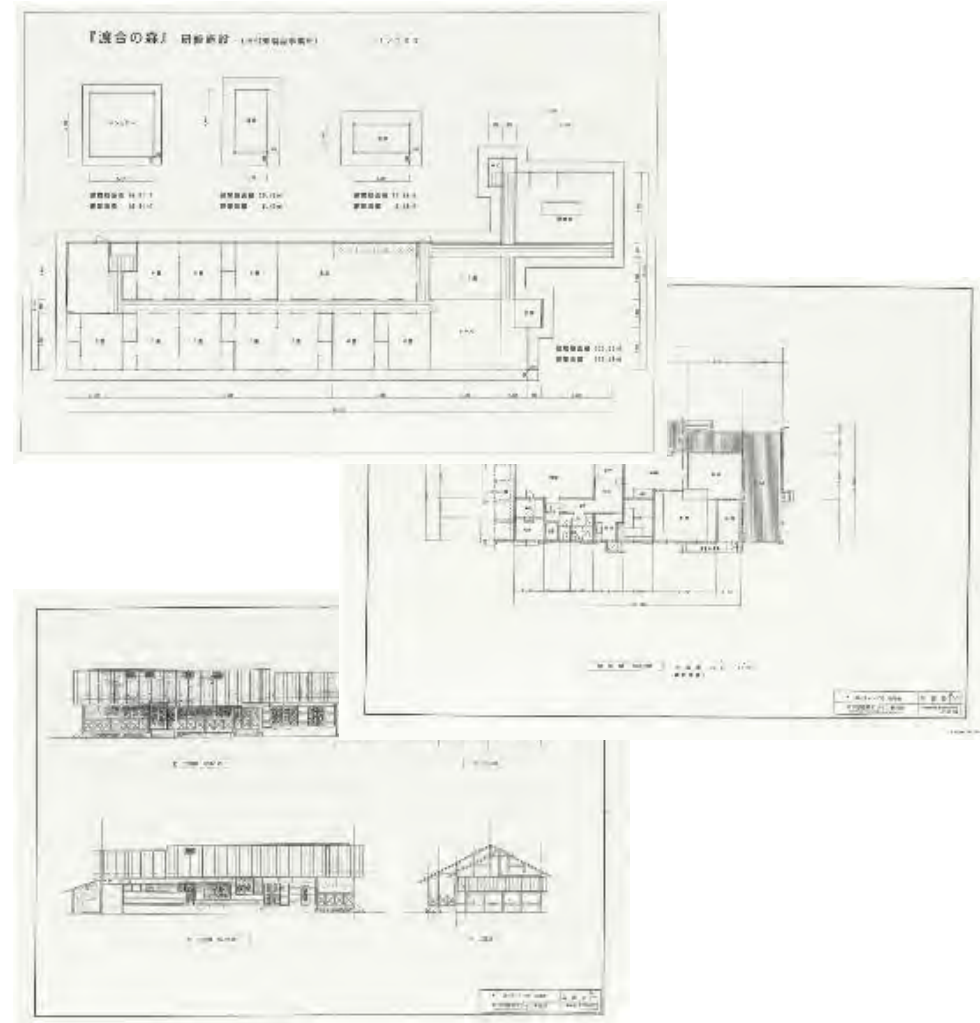
学生には現地に行けない難しい条件の中、現地の図面や、画像、動画、などの資料をもとに想像を膨らましてもらって夢のある提案からヒューマンスケールの具体的な提案まで様々な提案をしてもらった



渡合地区の写真



既存建物の図面



10月23日 地域内講評会



アンケートを配布し、案について地域の方の目線からご意見をいただいた
地域の方の意見を提案に落とし込み、ブラッシュアップを行う。



11月15日 講評会

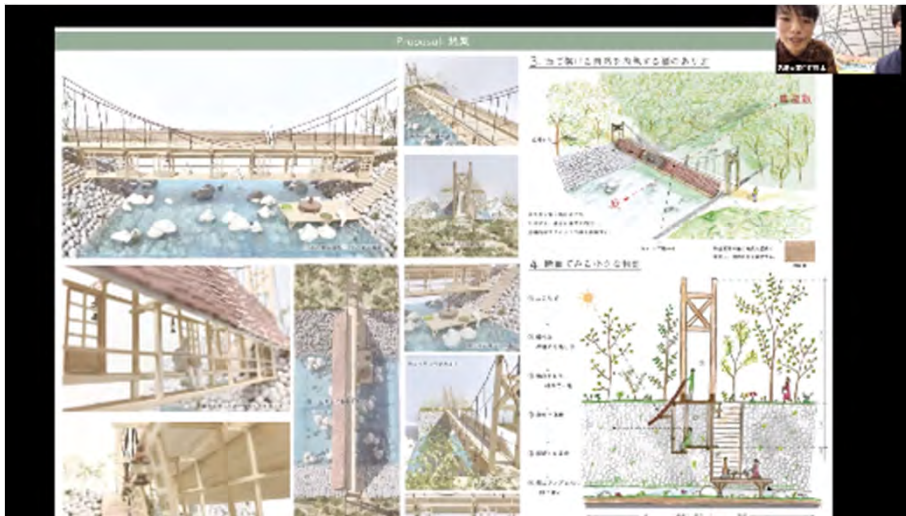
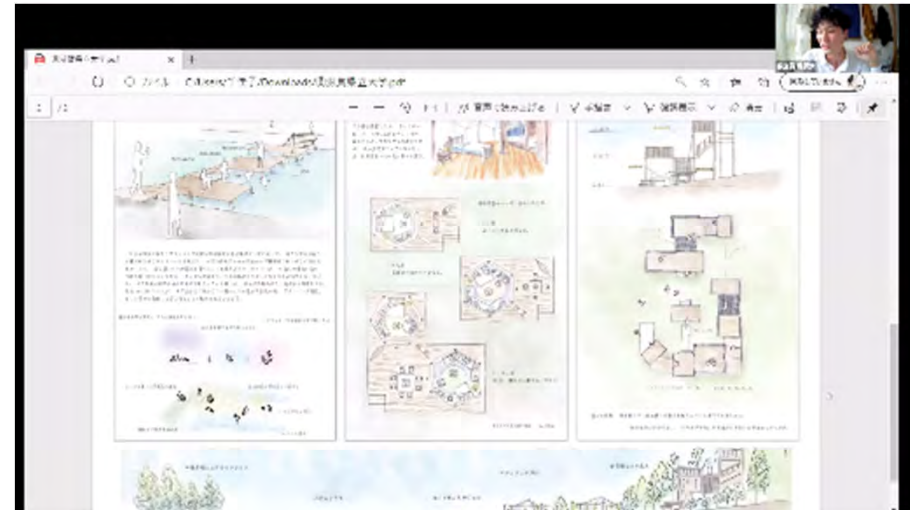
全10作品

審査員

柳沢究さん
(京都大学 准教授 1999年参加)

堀健太さん
(堀健太建築設計事務所 2007年参加)

土井脩史さん
(京都橘大学 教員 2007年参加)



講評会後の座談会



優秀作品紹介

最優秀賞1点

京都大学

優秀賞2点

名城大学

京都芸術大学

最優秀賞 京都大学



1. 多様な自然環境に合わせた設計

2. 遊歩道の設計

3. 遊歩道の整備

4. 遊歩道の整備

5. 遊歩道の整備

6. 遊歩道の整備

7. 遊歩道の整備

8. 遊歩道の整備

9. 遊歩道の整備

10. 遊歩道の整備

11. 遊歩道の整備

12. 遊歩道の整備

13. 遊歩道の整備

14. 遊歩道の整備

15. 遊歩道の整備

16. 遊歩道の整備

17. 遊歩道の整備

18. 遊歩道の整備

19. 遊歩道の整備

20. 遊歩道の整備

21. 遊歩道の整備

22. 遊歩道の整備

23. 遊歩道の整備

24. 遊歩道の整備

25. 遊歩道の整備

26. 遊歩道の整備

27. 遊歩道の整備

28. 遊歩道の整備

29. 遊歩道の整備

30. 遊歩道の整備

31. 遊歩道の整備

32. 遊歩道の整備

33. 遊歩道の整備

34. 遊歩道の整備

35. 遊歩道の整備

36. 遊歩道の整備

37. 遊歩道の整備

38. 遊歩道の整備

39. 遊歩道の整備

40. 遊歩道の整備

41. 遊歩道の整備

42. 遊歩道の整備

43. 遊歩道の整備

44. 遊歩道の整備

45. 遊歩道の整備

46. 遊歩道の整備

47. 遊歩道の整備

48. 遊歩道の整備

49. 遊歩道の整備

50. 遊歩道の整備

51. 遊歩道の整備

52. 遊歩道の整備

53. 遊歩道の整備

54. 遊歩道の整備

55. 遊歩道の整備

56. 遊歩道の整備

57. 遊歩道の整備

58. 遊歩道の整備

59. 遊歩道の整備

60. 遊歩道の整備

61. 遊歩道の整備

62. 遊歩道の整備

63. 遊歩道の整備

64. 遊歩道の整備

65. 遊歩道の整備

66. 遊歩道の整備

67. 遊歩道の整備

68. 遊歩道の整備

69. 遊歩道の整備

70. 遊歩道の整備

71. 遊歩道の整備

72. 遊歩道の整備

73. 遊歩道の整備

74. 遊歩道の整備

75. 遊歩道の整備

76. 遊歩道の整備

77. 遊歩道の整備

78. 遊歩道の整備

79. 遊歩道の整備

80. 遊歩道の整備

81. 遊歩道の整備

82. 遊歩道の整備

83. 遊歩道の整備

84. 遊歩道の整備

85. 遊歩道の整備

86. 遊歩道の整備

87. 遊歩道の整備

88. 遊歩道の整備

89. 遊歩道の整備

90. 遊歩道の整備

91. 遊歩道の整備

92. 遊歩道の整備

93. 遊歩道の整備

94. 遊歩道の整備

95. 遊歩道の整備

96. 遊歩道の整備

97. 遊歩道の整備

98. 遊歩道の整備

99. 遊歩道の整備

100. 遊歩道の整備



優秀賞 名城大学



渡合の未来を架ける橋

Research- リサーチ

Issue- 課題提起

Site- 対象敷地

1. マンパ村と渡合地区としての場の歴史性

2. 計画を見つめた橋の存在

3. 計画の背景

4. 計画の目的

5. 計画の意義

6. 計画の成果

7. 計画の展望

8. 計画のまとめ

9. 計画の補足

10. 計画の参考文献

11. 計画の謝辞

12. 計画の制作

13. 計画の発表

14. 計画の振り返り

15. 計画の未来

Proposal- 提案

3. 市で架ける自然を内包する橋のあり方

4. 都市でみる小さな風景

5. 計画の背景

6. 計画の目的

7. 計画の意義

8. 計画の成果

9. 計画の展望

10. 計画のまとめ

11. 計画の補足

12. 計画の参考文献

13. 計画の謝辞

14. 計画の制作

15. 計画の発表

16. 計画の振り返り

17. 計画の未来

